



糖尿病看護

外来 大塚 佳代 12階病棟 宮原 里絵

急性期入院で短い期間中に、自己注射手技の習得をすることなどが必要となります。そのため、早急に介入できるように、各部署に所属している糖尿病療養指導士と連携を図りながら活動をしています。

また外来では、下肢トラブルを予防するための「フットケア看護外来(爪切り・胼胝(べんち:角質の肥厚、タコ)処置など)」や退院後などの継続した療養指導も「糖尿病看護外来」で行っています。



針を刺さずに血糖値がわかる!? フラッシュグルコース モニタリングシステム



- 皮下の間質液中のグルコース濃度を測定します。
- センサーにリーダーを近づけ、いつでも、どこでも測定可能です。
- センサーは最長14日間連続測定が可能です。

アボットジャパン株式会社 資料より引用